

松江工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	実践英語コミュニケーション 1	
科目基礎情報							
科目番号		0004		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		人文科学科・数理科学科		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		『Now You're Talking! 2nd Edition Student Book』(EFL Press)、『Speaking of Speech New Edition』(Macmillan)					
担当教員		イビズ ニコラス					
到達目標							
①Gain and strong grasp of the practical use of English grammar in both writing and practical use. ②Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons. ③Develop their ability to make individual and team presentations in English involving the students specialist areas. Work on pronunciation, intonation and basic speaking fluency skills. ④Improve their listening and writing skills for both general and specific information.							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。		到達目標の内容を実践で理解している。		到達目標の内容を実践で理解していない。	
評価項目2		学習した文法項目について適切な理解ができている。		学習した文法項目について理解ができる。		学習した文法項目について理解ができない。	
評価項目3		学習例文を活用して、自分の意見や感想を英語で正しく表現できる。		学習例文を活用して、自分の意見や感想を英語で表現できる。		学習例文を活用して、自分の意見や感想を英語で表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
全学科共通 G3							
教育方法等							
概要		The primary focus of this course is spoken English focusing on correct, practical use of grammar combined with the learning and active use of basic presentational skills. Students will use English in a variety of "everyday" situations combined with listening activities. Students will practice how to make a coherent speech in simple and easy to understand English. Teamwork will be a key feature of this course. Students will support each other and evaluate each other to help create the best speech. Written work and presentations will supplement these topics ending with final group presentations.					
授業の進め方・方法		Final Presentation 70%. Short Test 10%. Homework 10%. Attendance 10%.					
注意点		All students, regardless of ability, are expected to actively participate in various activities in class and do their assignments earnestly.					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		Explanation of course and how to learn to think in and use English instinctively.		
		2週	Self-Introduction/Continuation of first week.		Present and past tenses. Constructing questions.		
		3週	Greetings / Presentation Skills (PS)1		Greetings, personal information / PS: Overview		
		4週	Descriptions		Adjectives/ PS1: Posture		
		5週	…continued		-Yes/no questions. /PS activities.		
		6週	Mid-Term Team Presentation		5 x 8 groups x 10 minutes		
		7週	…continued		Making comparisons/superlatives. PS activities.		
		8週	Preferences		Talking about likes and dislikes. PS3: Eye Contact		
	4thQ	9週	…continued		Favourites/singular and plural nouns. PS activities		
		10週	…continued		Asking for and giving reasons for opinions. PS4: Voice Inflection		
		11週	Appearances		Use of verbs be/have/wear etc. PS activities.		
		12週	…continued		Present/past vs present/past continuous. PS5: Visuals		
		13週	Review of Term 1				
		14週	Presentation Fluency Practice		Eye contact, gestures, intonation, pronunciation, etc		
		15週	Final Team Presentations		5 x 8 groups x 10mins		
		16週	試験返却		English activity.		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3			
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3			
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3			
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3			
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3			
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3			
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3			
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3			
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3			
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3			
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3			
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3			
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3			
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3			
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3			
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3				
			工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
						様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
						異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	

評価割合

	定期試験	プレゼンテーション	課題、授業態度、進歩	合計
総合評価割合	0	50	50	100
基礎的能力	0	50	50	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0